



7 月号

平成 30 年 7 月 1 日発行
 【発行者】〒168-8510
 東京都杉並区高井戸西 1-12-1
 社会福祉法人 浴風会
 京極 高宣
 TEL (代表) 03-3334-2101
<http://www.yokufukai.or.jp/>
 【編集者】露口 長
 【印刷所】株式会社サイド・ビー



梅雨明けに、まだ紫陽花が咲き誇っています。

地域包括ケアの深化に向けて

杉並区保健福祉部 高齢者担当部長

田部井 伸子



浴風会の皆様には、病院事業をはじめ、老人福祉事業、介護保険事業、地域包括支援センター等の公益事業と、医療・福祉の事業を総合的に展開されていることに、深く敬意を表します。

さて、団塊の世代が75歳以上となる2025年、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年を見据え、介護保険法の一部が平成29年に改正されました。杉並区でも、こうした背景を踏まえ、昨年度末、「地域包括ケアシステムの深化・推進」を一つの柱とする第7期介護保険事業計画を策定しました。地域包括ケアシステムの深化にあたっての課題の一つに認知症対策が挙げられます。浴風の皆様には、これまでも認知症疾患医療センターでの鑑別診断、地域の保健医療・介護関係者との関係づくり、認知症初期集中支援チーム、認知症アウト

リーチチームなど、認知症の中心的な役割を果たします。加えて、平成33年度には、特別養護老人ホーム棟がオープンしますが、地域の皆様が利用できる診療所や訪問看護ステーション等を併設することで、区全体の在宅医療体制の一層の強化を図ります。さらにセンターは、いわゆる8050問題やダブルケアといった複合的な生活課題を抱え、対応が困難な世帯に対し、分野を超えて調整し、丸ごとサポートする体制を整える機能を持つなど、地域包括ケアシステムの深化・推進の新たな拠点となるよう、鋭意、事業を展開しているところです。

区は、様々な試行錯誤を重ねながら、総力を挙げて地域包括ケアシステムの深化に取り組んでまいります。浴風会の皆様には、今後とも専門的知見からのご指導・ご協力をよろしくお願いたします。

平成29年度浴風会事業報告(概要)

総務部長 浅井 敏男

第1 社会福祉法改正への対応

1 法人制度改革に則った取組み

昨年4月に本格施行された改正社会福祉法によって、次の取組みが求められた。

- ① 経営組織のガバナンスの強化
- ② 事業運営の透明性の向上
- ③ 財務規律の強化

それらの対応として次の事項について6月下旬までに終えた。

- ① 議決機関としての評議員会を設置
- ② 会計監査人の導入
- ③ 財務諸表・法人現況報告書の公表
- ④ 役員等報酬基準の作成と公表
- ⑤ 社会福祉充実残額に係る作業

併せて、業務の適正化を確保するための体制の整備に関する基本方針を定め、この基本方針に則って、経営戦略等に関する合議体である経営企画会議や内部監査を担当する監査室を設置し、7月から運用を開始した。

2 法人本部組織の充実

法的枠組みに沿った整備の他、法人本部の有する機能及び果たす役割の明確化を行い、もって安定的な経営基盤づくりを進める観点から、法人本部体制の充実に図った。

法人本部に、新たに戦略的な人材確保を行うための人材確保対策推進本部、効果・効率的な地域貢献を行うための地域公益活動推進本部の2部門を加え、7月から運用を開始した。

第2 人材の確保と育成等

1 人材確保対策推進本部による取組み
介護職、看護職の確保が厳しい状況の

中、総合的、体系的な人材確保対策を樹立するとともに、職員の定着に向けた職場環境の改善を図ることを目的に取り組んだ。検討は、会のイメージアップ策(若手職員の意見聴取等)、求人のための広告といった課題から、週休二日制の導入、外国人労働者の受入れ等幅広く進め、出来るものから順次具体化を図った。

2 人材の確保

人材確保のため、看護師、介護福祉士、リハビリ等の養成校に対して、直接訪問等して学生紹介の依頼を行うとともに、実習生派遣校との懇談会の開催、求人サイトへの求人情報の掲載及び登録者への個別メール発信等、継続的な採用活動を実施した。

3 登用試験の実施等

看護師、介護福祉士等の中途採用及び契約職員(事務職、介護職)の登用試験を実施し人材の確保に努めるとともに、「実務者研修」の受講費用貸付制度についても継続し、職員の資格取得の支援も行った。

4 障害者雇用への取組み

障害者雇用について、法定雇用数の達成に努めてきた。

今年度の雇用不足数は4名となり、昨年度(雇用不足数・38名)に比してみると大幅な改善をみた。

5 職員研修及び福利厚生の充実

(1) 職員研修

職員の職階、経験等に応じたキャリア別研修や、時宜を得たテーマによる職員全体研修を計画的に実施するとともに、職員実践・研究発表会を開催して職員の資質の向上に努めた。

また、各事業部門においても、リスクマネジメント研修、外部研修に参加した者からの研修報告会、中途職員の採用研修、病院による院内研修の実施などに積極的に取組んだ。

(2) 福利厚生

法人直接あるいは福利厚生代行サービス法人によって様々なサービスを提供するとともに、職員親交会への助成によって、魅力ある職場づくりを推進した。

また、4月に、よくふう保育園(事業所内保育所・定員15名 運営・東京家庭学校(上水保育園))を開園し、職員並びに地域の子育て支援に努めた。

6 労働安全衛生の推進

職員の定期健康診断を実施する他、看護・介護スタッフの腰痛予防対策の実施、ストレッチチェック制度を中心とする総合的なメンタルヘルス対策の実施など、職場における職員の労働安全衛生の推進を図った。

第3 地域貢献活動の取組み推進

当会の各事業部門は、それぞれが持つ経験や資源を活かし、地域とのネットワークなどを通じて、地域に根差した様々な貢献活動を実施している。

内容として今年度より始めた、高井戸団地での「無料健康相談事業」、従前の「認知症カフェ事業」、「よくふう語ろう会」、「まるわかり! あんしん介護フェア」、「公開シンポジウム」も計画どおり実施した。

第4 安定的経営基盤の確保

1 各事業所間、各事業所と法人本部の間

の緊密な連携の確保

経営企画会議、幹部連絡会議、部課長連絡会議等の諸会議を通じて、経営方針等に関する意思疎通を図った。

2 計画利用率の確保・達成への取組み

いずれの事業部門においても計画利用率等の達成に向けて努力した。

介護保険部門においては、ショートステイ利用者の確保に力を注ぐなどして計画利用率の達成に努め、病院部門においても入院患者の確保によって増収を図った。

なお、通所系サービスにおける計画利用率の確保が厳しい状況であった。同サービスについては、今後の方向性を探る検討を開始した。

3 視察者、ボランティア等の積極的受入れ

地域に開かれた法人・施設運営を推進する見地から、視察者(245人)の受入れ、会全体でボランティア(延1万人)の支援を受けた。

4 広報推進会議の設置

法人としての一体化した広報計画の下に、歴史や理念、実施事業の現状や方向性等を迅速、適切に発信するなどして、法人の透明性を高めるとともに、当会に対する会内外関係者の理解、信頼及び支援を得る目的で、広報推進会議を設置した。

5 防災対策及び感染症予防対策の推進

大規模地震発生時を想定した法人防災訓練、病院医療救護訓練、各施設における防災訓練計画に基づく訓練を実施して、防災対策の推進を図った。

事業本部の保健衛生調整室、栄養サービス調整室が中心となって、インフルエンザ等の感染症予防にあたった。

第 5 各事業部門の取組み

1 高齢者保健医療総合センター事業

(病院・老健)

入院、外来にそれぞれ目標数を定め、収入増に努めるとともに、コスト意識をもつて各部門において経費節減を図った。

また、地域包括ケアシステムに参画すべく、地域の医療機関、介護サービス事業者との連携を密にして在宅復帰を促進するとともに、認知症疾患医療センターの普及及び充実に努めた。

2 老人福祉事業

虚弱化に伴う身体介助の増加、認知症や精神疾患に伴う見守り、金銭・投薬管理、利用者間トラブルの調整、夜間の体調急変への対応など、その支援の内容が多様化とも相まって多岐に亘っている。このような現状を踏まえつつ、個別支援サービス計画に基づく支援の実施、利用者からの意見・要望への丁寧な対応、生活環境の向上等に努めた。

3 介護保険事業

各事業とも、事業計画に沿って事業を推進し、利用者のサービス向上及び目標の達成に努めた。

介護老人福祉施設においては、医療必要度の高い利用者が多く、入院等によって目標の利用率に及ばなかったものの、緊急ショートステイの積極的な受入れ、居宅介護支援事業所との連携強化により空床ショートステイを増やし、利用率の確保に努めた。

また、サービスマナーについて悉皆研修を実施し、職員の意識向上を図る他、キャリア段位制度に継続して取組み、アセッサーによるレベル認定を行い、介護

職員のスキルアップを図った。

4 地域サービス事業

在宅の高齢者が住み慣れた地域で最後まで安心して暮らせるよう、地域包括システムの構築を目標にして、在宅の高齢者への支援に取組んだ。

また、よくふう保育園についても、運営受託者の上水保育園と協働で、家庭的

で安定した保育事業の運営に努めた。

5 認知症介護研究・研修東京センター事業

3 センターが参画する当センター全国運営協議会等において、各センターの運営をめぐる諸問題について検討、研究成果の報告を行った。他、東京センターの適正かつ円滑な運営を図るための運営委員会を開催した。

また、国の認知症施策の推進並びに認知症ケアにおいて急務となっている課題の解決に向けた研究・開発事業を進めるとともに、認知症介護指導者等の研修事業認知症介護情報ネットワークの運用等による広報・普及・啓発事業を推進した。

平成 29 年度 決算報告

(1) 貸借対照表の要旨 (平成30年3月31日現在)

単位: 千円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	2,376,847	流動負債	1,102,656
固定資産	12,515,098	固定負債	3,942,327
		負債の部合計	5,044,983
		基本金	506,033
		国庫補助金等特別積立金	5,757,107
		その他積立金	1,240,977
		次期繰越活動収支差額	2,342,845
		(当期活動収支差額)	(△133,956)
		純資産の部合計	9,846,962
資産の部合計	14,891,945	負債・純資産合計	14,891,945

(2) 総合資金収支計算書 (平成30年3月31日現在)

単位: 千円

区分		収 入 額		支 出 額		収支差額
社会福祉事業	養護 浴風園	471,684		488,949		△ 17,265
	軽費 松風園	346,830		346,009		821
	軽費 ケアハウス	168,337		166,383		1,954
	老人福祉事業計 (a)	986,851	11.7%	1,001,341	11.8%	△ 14,490
	特養 南陽園	1,131,922		1,226,824		△ 94,902
	特養 第二南陽園	700,015		697,926		2,089
	特養 第三南陽園	1,052,388		1,045,644		6,744
	南陽園在宅サービスセンター	47,998		52,552		△ 4,554
	第二南陽園在宅サービスセンター	82,797		95,655		△ 12,858
	グループホームひまわり	107,086		105,012		2,074
	ヘルパーステーション	64,481		63,587		894
	介護保険事業計 (b)	3,186,687	37.8%	3,287,200	38.7%	△ 100,513
	浴風会病院	3,041,959		3,008,900		33,059
	老健くぬぎ	572,574		560,059		12,515
	認知症介護研究研修センター	316,157		311,177		4,980
	本部経常部	178,876		179,508		△ 632
	社会福祉事業合計 (c)	8,283,104	98.2%	8,348,185	98.3%	△ 65,081
公益事業	地域包括支援センター	47,971		47,788		183
	居宅介護支援事業所	29,900		29,544		356
	よくふう保育園	42,338		38,573		3,765
	ケアスクール	15,857		15,713		144
公益事業合計 (d)		136,066	1.6%	131,618	1.5%	4,448
収益事業 (e)		16,629	0.2%	14,189	0.2%	2,440
総 計 (c+d+e)		8,435,799	100.0%	8,493,992	100.0%	△ 58,193

浴風会の動き (6 月)



よくふう保育園の園児たちのために「動物ベンチ」が中庭に設置されました。(第一生命財団助成)

【本部事務局】

7 日 監事監査実施。

15 日 第 1 回理事会開催。

「平成 29 年度事業報告・決算」、「定時評議員会の開催」について承認された。

28 日 労働組合団体交渉。

29 日 6 月定時評議員会開催。

「平成 29 年度決算」、「理事の異動」について承認された。

第 2 回理事会(書面決議)。「業務執行理事の選任」、「参与の委嘱」について承認された。(浅井)

(理事の異動) 平成 30 年 6 月 29 日付

退任 潮谷義子理事

就任 日置豊見理事

就任 神野直彦氏

(日本社会事業大学学長)

小室清吾氏(浴風園長)

(業務執行理事の就任)

平成 30 年 7 月 1 日付

老人福祉事業担当 小室清吾理事

(浴風園長)

(参与の委嘱) 平成 30 年 7 月 1 日付

日置豊見氏(前業務執行理事・

浴風会病院事務局長)

浴風会ケアスクール

Café オレンジリボンウッド

5 日 毎週火曜日 介護職員初任者研修

スクーリング。受講生 11 名。

講師・五味長武氏・亀谷則子氏・瀧浪美也子氏。

13 日 よくふう語ろう会(認知症介護家

族会) 21 名参加。第一部として「歩行速

度」測定による質の高い歩き方。講師・山本浩司氏のお話を伺い、その後中庭で

スマホアプリによる歩行速度測定体験を

行いました。第 2 部では毎回、参加者の

ご希望に合わせてグループ分けをして、

日頃の介護について語り合っています。

今回は、7 月 11 日 10 時 30 分から本館第三

会議室にて開催します。

11・22 日 café オレンジリボンウッ

ド開店。来店者 11 日 27 名、22 日 58 名。

今回は 7 月 9 日 11 時 30 分～15 時

本館 1 階第三会議室にて開店

いたします。パン、焼き菓子、

コーヒの他素敵な小物の販

売と、折り紙など一緒に楽し

める手作りコーナーもありま

す。みなさまのご来店をお待

ちしております。

(鈴木)



【老人福祉事業】

浴風園 (養護老人ホーム)

27 日 コミュニティホールで衣料品展示

会が開催されました。夏物の衣料を中心

に、その他寝具などそれぞれ好みに合わ

せた買い物を楽しまれました。

30 日 富士見丘小・中学校の生徒の皆様

が花壇作りのボランティアとして約 50 名

来園されました。パンジーやケイトウを

育てていけるよう耕す作業をして下さっています。

(宮崎)

松風園

(軽費老人ホーム)

1 日 松風園では毎月、歩いて見学や散

策に行く「歩こう会」を開催しています。

6 月は高井戸の清掃工場の見学に行きま

した。

工場内は外からは想像できないほど広

く、見学コースは 1.5 km。家庭から集め

られたごみがどう処理されるのか順番に

見学し、実際に炎の熱さをガラス越しに

体験し、ごみ分別のクイズにも挑戦。施

設内を歩いた後は排熱を利用した足湯で

疲れを癒しました。

みなさんからは、昔と分別方法が変わ

ったことに気づいた、近くにこんなところ

があるならまた来てみたいといった声

が聞かれました。

(藤原)

浴風会ケアハウス

1 日 開園記念日の食事を開催しまし

た。皆様でケアハウス開設 22 周年をお祝

いしました。

19 日 今月の歩こう会は、少し遠出し

て羽田空港国際線ビルに行きまし

た。プラネタリウムや飛行機の見

える展望デッキなど、空港を満喫

した一日になりました。

20 日 皆様のご協力をいただき、七夕

飾りをたくさん作りました。

(隈本)



【介護保険事業】

南陽園

(特別養護老人ホーム)

5 月 26 日 3 特養の機能訓練指導員が合

同で企画した、ご利用者が機能訓練の一

環として作成した作品の展示会「ももの木作品展」を、南陽園機能訓練室で開催しました。

17 日 フルーツバイキングを行いました。

た。綺麗に飾られたフルーツの盛り合わせの中から好きなものを

を選び、美味しく戴きました。

24 日 夏物衣料展示会を開催しました。

それぞれご自分の好みの服を選ばれ購入

していました。

24 日 「武蔵台ウインドオーケストラ」

の皆様によるミニコンサートが開催さ

れ、生演奏による、ジャズ、唱歌、歌謡

曲を楽しみました。

(丸山)

南陽園在宅サービスセンター

(認知症対応型通所介護)

7 月 1 日付で、生活相談員が鈴木伸亮

から徳増尚高に代わりました。

鈴木は 7 月より浴風会病院に配属とな

ります。短い間でしたが皆様には大変お

世話になり、厚く御礼申し上げます。

新担当の徳増は、特別養護老人ホーム

南陽園より異動して参ります。今後とも

宜しくお願い致します。

(鈴木)

★各事業のお問い合わせは随時行ってお

りますので、お気軽にご連絡下さい。

電話 03-3334-2743 (徳増・工藤)

第二南陽園 (特別養護老人ホーム)

10 日 夏物衣料展示会があり、ご家族、

ご利用者が色々な洋服等を手に取り選ん

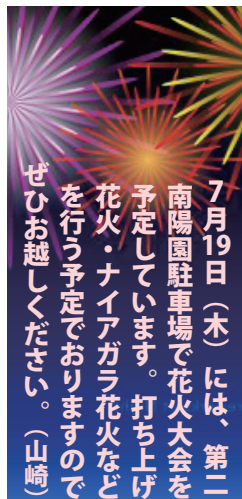
でいらつしました。

17 日 都立西高校管弦楽部による演奏会

がありました。各階で、すてきな演奏を

披露してくださいました。

18日 フルーツバイキングを行いました。「どんな果物があるのだろう」「何がいかしら」と真剣に選ばれている姿もみられ、とても好評でした。



7月19日(木)には、第二南陽園駐車場で花火大会を予定しています。打ち上げ花火・ナイアガラ花火などを行う予定でありますのでぜひお越しください。(山崎)

第二南陽園在宅サービスセンター

(通所介護、介護予防通所介護)



七夕の準備を進めています。普段あまり手工芸活動に参加されない方も、取り組まれていきます。短冊について調べてみると、色にも意味があり、願い事も「〜になります!」と「言い切る」ことがよいようです。健康を願う方も多いので、その手助けとなるよう、デイサービスでも体操やゲームを行っていきます。生活習慣にデイサービスも取り入れてみませんか。

(尾滝)

★お問い合わせもお待ちしています。
03-3334-2140

第三南陽園 (特別養護老人ホーム)

5月26日 ボランティア交流会を行いました。日頃活躍して頂いているボランティアの方々からたくさんのご意見を伺い、活気ある会を開催することができました。

4・5・17・18・26日の外出支援。梅雨の晴れ間にそれぞれにお出かけをしました。吉祥寺へ鰻を食べにいたり、近場では神田川沿いを散策し高井戸駅にあ

るドーナツ屋さんに出かけたり等々。電車の中で出会った、ベビーカーに乗っている赤ちゃんを見て「あら〜可愛いわね」と声をかけたり、久しぶりに高井戸駅に行き「駅もずいぶん変わったわね」と終始笑顔で楽しまれていた様子でした。

17日 衣料展示会。フロアに洋服屋さんが開店しました。洋服を見ながら「私には派手よ」「似合ってますよ」など職員とのやり取りが多く聞かれました。

25日 白十字の会社の方に講師をお願いし、排泄ケアの研修会を行いました。ベテラン職員が17名参加し、日頃させて頂いているケアを逆に体験しながら、ケアの見直しをしました。(谷口)

グループホームひまわり

6日 らっきよう漬け。らっきようを「昔はよく作ったわね。」「いい匂いがするわね。」と楽しそうに話をしながら、みんなで根と茎を取り、皮を剥いて、甘酢に漬けました。出来上がったら皆様に頂きたいと思います。



19日 角笛幼稚園訪問。こぶとり爺さんの紙芝居の読み聞かせとあめふりの歌と一緒に歌いました。帰り際には「また来てね、バイバイ!」と手を振って見送ってもらい、握手もされるなど、笑顔で楽しい交流となりました。(村下)

【地域サービス事業】

地域包括支援センターケア24高井戸

昨年度より、子どもの頃から認知症を知ってもらおうということで、杉並区内の小学校で「認知症サポーター養成講座」が開催されています。

講座で短い講義とDVDをみて、最初には認知症がよくわからなかった子どもたちも、何となくイメージを持てるようになりました。特に、DVDで、認知症の方へ、強い口調で出来ない事を指摘している場面では、「そんなに言わなくても良いのにね」と、終了後のアンケートでは、自分はやさしく声掛けしてあげたいなど書いてありました。

私たちは、知らない事への不安から、ついつい心ない言葉を発してしまう事があります。でも、正しい理解をする事で、人と人の繋がりは生まれてくるのだとつくづく感じました。

子どもたちの素直な気持ちが、いつまでも繋がっていきけるそんな地域づくりを、様々な方々と考えて行きたいと思っています。(尾関)

杉並区地域包括支援センター

ケア24高井戸

電話03-3334-2495

【病院事業】

浴風会病院

「区民健診予約受付中」

杉並区、世田谷区、中野区の方が対象となります。**7月の予約枠に空きがございます。**皆様のご予約をお待ちしております。

主な検査内容は、血液検査・尿検査・胸部レントゲンです。必要に応じて心電図検査及び貧血の検査も行います。また、ご希望により大腸がん検査等も行っております。お電話でのご予約は、月曜〜金曜(祝日を除く)午前9時から午後5時までです。(中澤)

03-3332-6511 (代表)

老健くぬぎ

(介護老人保健施設)

15日 入所者を対象に映画上映会を開催しました。石原裕次郎の主演映画で、30名ほどのご利用者が懐かしみながら見入っていました。

21日 杉並区長選挙および杉並区議会補欠選挙の不在者投票を実施しました。事前に希望されたご利用者がそれぞれ広報等で決められた候補者に投票することができました。

7月25日に家族介護教室「介護報酬改定について」を予定しています。4月に行われた改定で、老健施設の今後の動きについてお話ししたいと思います。興味のある方は是非ご参加ください。(森屋)

★入所・デイケア・ショートステイご利用のご相談はお気軽にご連絡ください。

03-5336-7701 (代表)

03-5336-7734 (入所)

03-5336-7704 (デイケア)

【研究・研修他】

認知症介護研究・研修東京センター

1日 平成29年度日本医療研究開発機構による研究開発費確定検査

(大手町・読売新聞ビル)

4・22日 第1回前期認知症介護指導者養成研修(10名受講)

5・6日 第1回認知症地域支援推進員研修(港区・296名修了)

26・27日 第2回認知症地域支援推進員研修(福岡市・225名修了)

29日 運営協議会開催

*2ヶ月間の工期を経て、全館空調設備更新工事が無事完了致しました。(村上)

浴風会病院 診療案内 ⑬



区民健康診査実施のご案内

健診担当 立川 和則

平成 30 年度の区民健康診査が 6 月より開始となりました。昨年に引き続き当院の健診センターでの受診ができますのでご予約をお待ちしています。

《受診できる期間は》

ご受診いただく期間は誕生月で決まっています。

4 月から 9 月生まれの方は平成 30 年 6 月 1 日から 10 月 31 日の間にお受け下さい。

10 月から 3 月生まれの方は平成 30 年 8 月 1 日から平成 31 年 1 月 31 日の間にお受け下さい。

《予約はどう取るの》

ご受診頂く場合は必ず受付窓口かお電話で事前にご予約をお取りください。

実施日は月曜日から金曜日までの午前中の受診となります。

9 時・9 時 30 分・10 時・10 時 30 分の各時間で予約します。

予約の状況によりご希望の日時でお取りできない場合もありますのでご了承願います。

健康診断の結果については後日健診センターにご来院頂き、医師より直接結果説明を致します。

予約先電話 03-3332-6511 内線 7121

《費用はかかるの》

区民健康診査の基本検査項目は無料です。追加健診は有料となりますので詳しくは各区より配布されている「区民健康診査のお知らせ」をご覧ください。

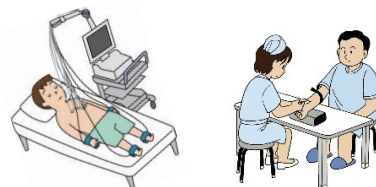
《ついでに受けられる検査》

この追加検査は区民健康診査の項目には含まれないため、ご受診頂く場合は別途料金がかかります。

【追加検査】

骨密度測定 (当日結果報告)	5,724 円
動脈硬化検査 (当日結果報告)	3,456 円
胃がんリスク検査 (後日結果郵送)	3,780 円

【税込料金】



上記の検査項目は区民健康診査の受診対象者以外のどなたでもお受け頂く事ができます。この機会に是非、ご受診頂き日頃の健康管理にお役立て頂きますようおすすめ致します。

*また、当院の健診センターでは区民健康診査や上記検査以外でも脳ドックや健康診断等 (就職時採用健診、定期健康診断等) もお受けしていますので、お気軽にお問い合わせ下さい。



予約受付時間 午前 9 時 00 分から午後 5 時 00 分まで
お問合せ 浴風会病院 03-3332-6511 (代表)

【ご意見をお寄せください】

〒168-8510 ※住所なしで届きます
機関紙「浴風会」編集部係
sounu2@yokufukai.or.jp
http://www.yokufukai.or.jp/

ご芳志

平成 30 年 5 月 16 日から

平成 30 年 6 月 15 日

多くの方々よりご芳情を
いただきました。

ありがとうございます。

〈金品・物品〉

林 泰様、宮沢 郁子様、

丸地 多恵子様

●ほか、各施設にもいただいて
おります。

編集後記

関東地方は、奄美から飛び地した
異例な 6 月梅雨明け (平年より 22 日も
早い) に、今年は長い夏になりそうだ
と思っていたところ、7 月早々、まだ
梅雨明けしていない西日本各地に記録
的な大雨が襲い、河川の氾濫、浸水、
土砂崩れなどにより多くの死者が出、
不明者もまだ多数おられます。日本列
島は災害列島でもあることをあらため
て思い知らされます。
被災に遭われた方々に、心よりお
見舞い申し上げます。
(一)

「浴風会つながるフェスタ」

10 月 20 日 (土) に開催いたします。
となりました。
どうぞ、期待ください。

「まるわかり! あんしん介護フェア」(旧)
が 7 回目を迎え、職員公募による新名称